

中央教育審議会答申は

問題だらけ

モディ1 「定額働かせ放題」はそのまま

モディ2 教職員の基礎定数増にふみこまず

モディ3 「新たな職」をつかってせんせいのチームワークにひびを！

中教審答申を受けて、政府は「定額働かせ放題」はそのままにし、教職調整額を増額する給特法の改定法案を来年1月の国会に提出する予定です。今回の総選挙は、その審議をする国会議員を選ぶ選挙です。

また、「新たな職」は、教職員の共同をこわすおそれがあります。1月から始まる国会を、教職員定数改善、残業代を支給できる仕組み、「新たな職」の設置を阻止する施策を求める「教育国会」にしましょう。

必要なのは、勤務時間内に仕事を終わられるような教育条件整備です

憲法がいきる社会の実現を

自公政権の新自由主義的政策のもとで、実質賃金は減り、貧困と格差の拡大が深刻化しました。同時に、憲法を無視して、戦争できる国づくりが進行しています。「教え子を再び戦場に送るな」を掲げて、憲法をいかし、だれもが大切にされる政治を求めましょう。



衆議院選挙のしかた

衆議院選挙では2回投票します

小選挙区選挙は候補者名で投票します

比例代表選挙では政党名で投票します

期日前投票

選挙当日に投票ができない場合、各市区町村の期日前投票所において、事前に投票することが出来ます。郵送された「整理券」を持参するか、所定の書類に必要事項を記入すれば、簡単に投票出来ます。

私たちの選択で政治は変えられる！
投票に行こう！

教職員にできる選挙運動

詳しくはコチラ

